

高津高校 SSH 通信



種子島・屋久島サイエンスツアー

12月24日～26日にかけて、種子島・屋久島サイエンスツアーを、参加生徒35名で実施しました。1日目はまず「屋久島環境文化村センター」を訪れ、屋久島の自然環境全般について学びました。続いて世界遺産地域である「西部林道」へ。バスで西武林道を移動中、バスのすぐ横にヤクシカ、ヤクシマザルが出てきました。しばらくは観察タイムと写真撮影。その後、バスを降りて徒歩で西部林道を移動。インストラクターの方の説明を



聞きながら、屋久島の生態を、自分の五感を通して、肌で感じることができました。時間に余裕があったので、「大川の滝」へ立ち寄ってもらいました。滝壺まで近づくことができ、大迫力で圧倒されました。この日は、屋久島を1周するように移動をしましたが、島の位置で天気が全然違うことに驚きました。

北部では大荒れだった天気も、南部に行けばとても良い天気で風も穏やかでした。最後の見学は「屋久杉自然館」です。とても大きな屋久杉が展示されており、圧倒されました。また、屋久杉と他の木との違いを、実際に触れるたり嗅いだりして体験できました。この日の夜にはナイトハイクを行いました。懐中電灯を持たず、真っ暗闇の中をインストラクターさんに連れられて広場まで移動しました。大阪とは違い、電灯がない道を夜空の星の明るさを頼りに歩いていきました。そんな中で行う星空観察は別格でした。「こんなにも星ってあったのか」というくらいの多くの星を見ることができ、一同、感動しました。



2日目は、雨風が強くなってしまったこともあり、「ヤクスギランドの散策」にいきました。4班に分かれインストラクターさんに説明をしてもらいながら散策をしました。「屋久杉という固有種が存在するのではなく、あくまで樹齢1000年以上の杉を屋久杉と呼んでいる」「一般的な杉の寿命は500年だが、ここまで寿命が長くなる要因は、杉自体が特殊だからというよりも、むしろ、屋久島の地質や気候などの自然環境によるもの」と解説いただきました。

以上、種子島・屋久島サイエンスツアーの間は、自然の猛威、雄大さ、壮大さを肌で感じたものでした。本物を実際に自分の五感を通して感じる体験は感動するものばかりでした。ネットではなく、現地に行って、本物を体験することの大切さを感じました。この感動を糧として、「もっと知りたい!」という気持ちを大切に、次へとつないでほしいと思います。

